

◆トヨタ自動車株式会社

【設立】 昭和13年8月28日

【資本金】 3,970億5,000万円

【主な事業概要】

自動車とその関連部品・用品の設計、製造及び販売

【売上高過去3期分(連結)】

令和3年3月期 27兆2,145億9,400万円

令和2年3月期 29兆8,665億4,700万円

平成31年3月期 30兆2,256億8,100万円

【当期経営状況】

新型コロナウイルスの影響で売上が27兆2,145億円
(前期比8.8%減)に減少し、トヨタ・レクサスの販売台数は
前期比96.0%となったが、電動車に関しては前期比112.
3%の215万台と貢献し減少の歯止めとなった。

今後はアフターコロナの回復及びカーボンニュートラルの一
環としてEV・水素エンジン等の開発等により更なる発展が
見込まれる。

トヨタ自動車

<財務力>

表面上、当座比率88.7%なので、支払能力が弱いようだが、「トヨタ銀行」と呼ばれるだけに、現預金、売掛金等と短期の金融資産の合計は19兆円となり、固定資産の中の21兆円を超える金融資産を含めると40兆円となり、支払能力は盤石といえる。

財務センターラインはほぼトントンなので、標準的

自己資本比率 39.0%(標準40%)以上 健全性 良

<収益力>

収益力 超優良 経営負担率 51.2%(標準90%)以下

収益効率性 優良

売上高経常利益率 10.8%(標準4~5%)以上

<キャッシュフローの特徴>

2兆2823億円の利益に1兆6442億円の減価償却費のプラス要因に新規借入が9兆6562億円あり、トータルで1兆24億円のキャッシュフローの増加となった。

「優良会社3要件」

- ① 法人税等の支払 (社会還元)
- ② 配当金の支払 (株主還元)
- ③ 設備投資 (将来への投資)

を充分満たしている

《ポイント》

収益力は抜群なのだが財務的には流動性比率(流動比率、当座比率)が標準以下で支払能力に不安がある。

世界的な企業なので早期の改善に期待する。

トヨタ自動車株式会社

R3/3月期

貸借対照表

(単位: 百万円)

流動資産 (22,776,800)		流動負債 (21,460,466)	
現預金 5,100,857	当座比率 88.7%		
売掛金等 2,958,742	流動比率 106.1%		
金融資産 10,971,646		固定負債 (16,518,344)	
固定資産 (39,490,339)		資本 (24,288,329)	
金融資産 21,533,439	固定長期適合率 96.8%		
	固定比率 162.6%		
		自己資本比率 39.0%	
資産合計 62,267,139		負債・資本合計 62,267,139	

支払能力 やや不安

当座比率88.7% (標準100%) 以上
流動比率106.1% (標準120%) 以上

現預金、売掛金
金融資産合計 約19兆円
固定性金融資産を含めると
約40兆円で盤石

ここがポイント
財務安定性
標準

財務センターライン
やや右上がり

固定長期適合率
96.8% (標準100%) 以下

健全性
標準

自己資本比率39.0%
(標準40%) 以上

損益計算書

(単位: 百万円)

変動費比率 77.9%		売上原価 (21,199,890)	
売上高 (27,214,594)	固定費比率 11.3%	固定費 (3,082,350)	
	粗利益率 22.1%		
	経営負担率 51.2%	経費 -	
		金利 -	
		戦略費 -	
		経常利益 (2,932,354)	
		粗利益 (6,014,704)	
	経常利益売上比率 10.8%		

収益力 超優良

経営負担率
51.2% (標準 90%) 以下

収益効率性
優良

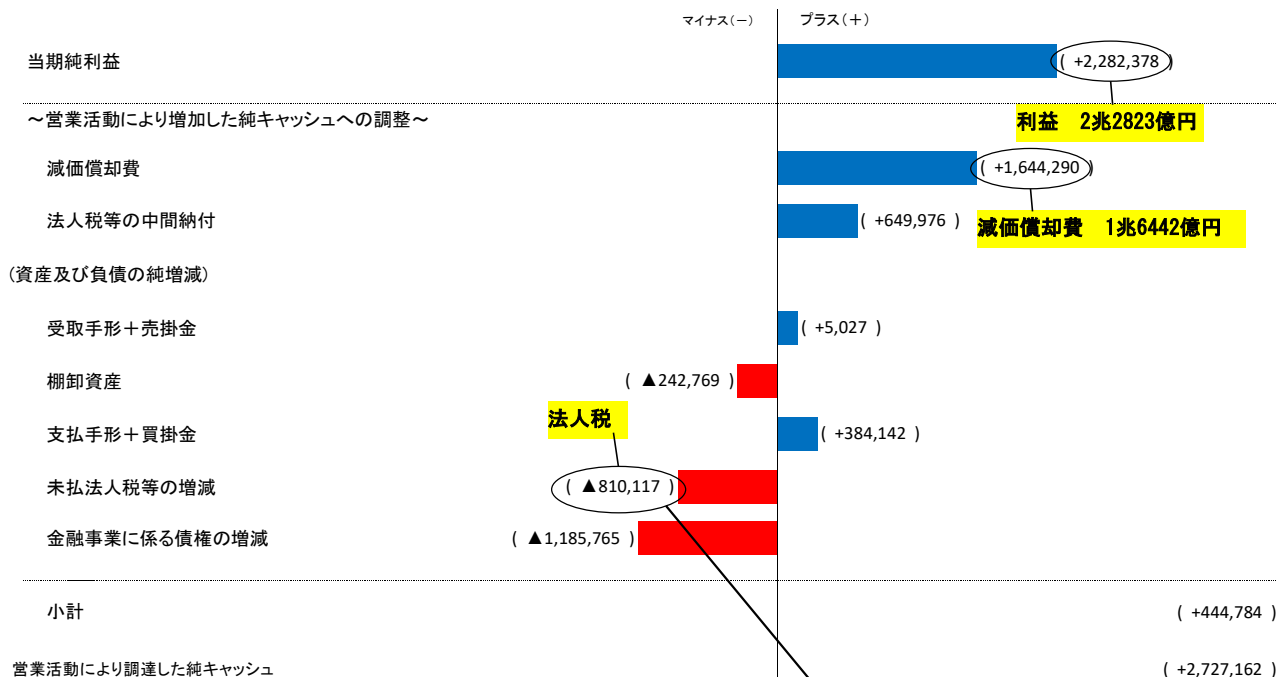
経常利益売上比率
10.8% (標準4~5%) 以上

～キャッシュフロー計算書～

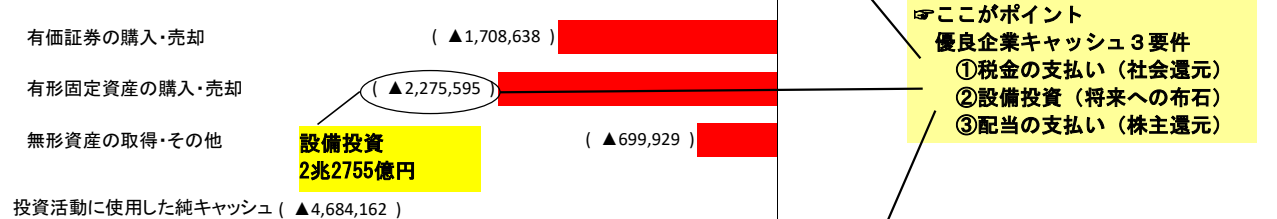
期間 2年4月 1日 ～ 3年3月 末日

(単位 百万円)

I 営業活動によるキャッシュフロー



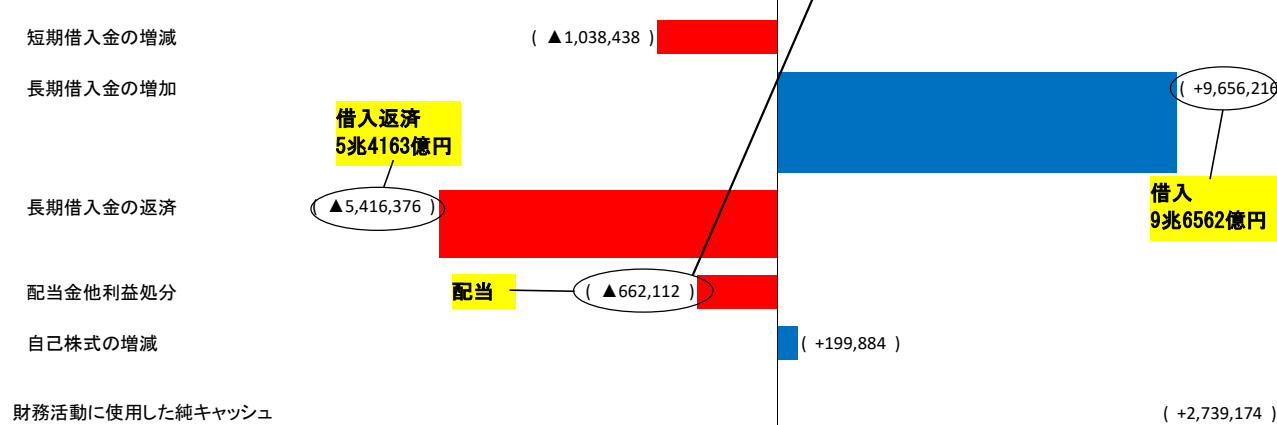
II 投資活動によるキャッシュフロー



I + II フリーキャッシュフロー(純現金収支)

(▲1,957,000)

III 財務活動によるキャッシュフロー



IV 現預金の増減(VI-V)

(+1,002,407)

1兆24億円
キャッシュ増加

V 現預金「期首」残高

(+4,098,450)

VI 現預金「期末」残高

(+5,100,857)

H31/3月期
貸借対照表

(単位:百万円)

流動資産 (18,879,237) うち 現預金 3,574,704 売掛金 2,372,734	流動負債 (18,226,938)	当座比率 89.0%	流動比率 103.6%
固定資産 (33,057,712)	固定負債 (13,144,801)	固定長期適合率 98.1%	固定比率 160.7%
	資本 (20,565,210)	自己資本比率 39.6%	
資産合計 51,936,949	負債・資本合計 51,936,949		

R2/3月期
貸借対照表

(単位:百万円)

流動資産 (18,963,320) うち 現預金 4,098,450 売掛金 2,648,360	流動負債 (18,142,209)	当座比率 85.5%	流動比率 104.5%
固定資産 (35,009,043)	固定負債 (14,491,142)	固定長期適合率 97.7%	固定比率 164.1%
	資本 (21,339,012)	自己資本比率 39.5%	
資産合計 53,972,363	負債・資本合計 53,972,363		

支払能力 やや不安
当座比率88.7% (標準100%) 以上
流動比率106.1% (標準120%) 以上

R3/3月期
貸借対照表

(単位:百万円)

流動資産 (22,776,800) うち 現預金 5,100,857 売掛金 2,958,742	流動負債 (21,460,466)	当座比率 88.7%	流動比率 106.1%
固定資産 (39,490,339)	固定負債 (16,518,344)	固定長期適合率 96.8%	固定比率 162.6%
	資本 (24,288,329)	自己資本比率 39.0%	
資産合計 62,267,139	負債・資本合計 62,267,139		

財務安定性 良
固定長期適合率 96.8%
(標準100%) 以下

健全性 良
自己資本比率39.0% (標準40%) 以上

損益計算書

(単位:百万円)

売上高 (30,225,681)	売上原価 (23,389,495)	変動費比率 77.4%	固定費比率 15.1%	粗利益率 22.6%	経営負担率 66.6%	人件費 -	経費 -	金利 -	戦略費 -
						粗利益 (6,836,186)	固定費 (4,550,721)		
						經常利益 (2,285,465)			
労働分配率 = 0.0%						經常利益売上比率 7.6%			

損益計算書

(単位:百万円)

売上高 (29,866,547)	売上原価 (23,103,596)	変動費比率 77.4%	固定費比率 13.3%	粗利益率 22.6%	経営負担率 58.7%	人件費 -	経費 -	金利 -	戦略費 -
						粗利益 (6,762,951)	固定費 (3,970,009)		
						經常利益 (2,792,942)			
労働分配率 = 0.0%						經常利益売上比率 9.4%			

損益計算書

(単位:百万円)

売上高 (27,214,594)	売上原価 (21,199,890)	変動費比率 77.9%	固定費比率 11.3%	粗利益率 22.1%	経営負担率 51.2%	人件費 -	経費 -	金利 -	戦略費 -
						粗利益 (6,014,704)	固定費 (3,082,350)		
						經常利益 (2,932,354)			
労働分配率 = 0.0%						經常利益売上比率 10.8%			

収益力 超優良
51.2% (標準90%) 以下

収益効率性 優良
10.8% (標準4~5%) 以上